

◎保安院の所感

保安院でも安全確保がどうすれば安心につながるか議論しているが妙薬はない。今日の貴重な意見を常に念頭に置いて行政を進めていきたい。

東海村原子力関係施設視察
研修を実施しました

▽日 時 平成16年3月12日(金)～
13日(土)

▽視察先等 原子燃料工業(株)東海事業所
日本原子力研究所・東海研究所

研修・意見交換(原子力
防災について)

▽出席者 委員14名

▼視察研修概要

●原子燃料工業(株)東海事業所

○12日 13:00～14:45

・ここでは、柏崎刈羽原発などで使われている沸騰水型原子炉用の燃料及び日本原子力研究所の高温ガス炉用の燃料を製造しています。

・工場の概要、燃料の製造工程につい

●日本原子力研究所・東海研究所

○12日 15:10～17:15

・日本原子力研究所は我が国の原子力平和利用を進めるための中核的な総合研究開発機関として昭和31年に発足し、昭和32年には日本最初の原子炉が臨界に達しました。



原子燃料工業での質疑応答

て説明を受けた後、工場内に入り燃料製造工程を視察しました。
・厳しい品質管理が要求され、官庁、自治体、電力会社などからの監査・チェックが毎週のように行われているとのことでした。



日本原子力研究所東海研究所の燃料試験施設

・現在は原子力エネルギー研究、総合原子力科学研究などを行っており、その中で原子力施設の安全性研究も行っていきます。
・原研では国の委託により柏崎や福島の新シラウドや再循環系配管から切り出したひび割れの調査及びひびのあるシラウドの健全性の解析を行っており、その概要の説明を受けました。
・最後に発電所で使われた燃料の安全性、健全性の調査研究を行っている燃料試験施設を視察し、実際に分析